

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2020年度 第7回理事会

議事録

日時：2021年7月17日（土）16：00～17：40

場所：リモート開催

出席者：椎名茂、古市隆一、保科実、鈴木久三郎、隅野礼雄、大日方邦子、夏目堅司、二星謙一、渡辺孝次、安藤佳代子、狩野亮、桜本利幸、鹿島（吉龍）忍、東海林志朗、井上真司、山口聖子、田原麗衣、小林（井口）深雪、小林清美（19名）

委任出席者：荒井秀樹、岩間秀子、新田佳浩、高浜成行、中村勝彦、辻村和見、（6名）

欠席者：中村実彦（1名）

出席監事：大内悟、宮田隆司（2名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、26名中出席25名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市副会長、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

椎名会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会長の挨拶に続き会議が開始された。

【審議事項】

（1）2021年度各本部・委員会の事業計画・事業予算、連盟予算について

本部長・委員長より資料に沿って2021年度の事業計画・事業予算の説明が行われた。

石丸：各本部・委員会からの事業計画に基づく事業予算と管理部門の予算をまとめた連盟予算案の収入と支出について説明を行った。パラ競技3チームの強化費は内定額を前提にした予算案で最終決定額が出た時点で修正することを前提にしています。

議長：2021年度の各本部・委員会の事業計画・事業予算と連盟予算案（強化費の最終決定額を踏まえた修正を前提にして）について承認を求めたところ全員一致で承認された。

（2）2021年度強化指定選手選考基準と強化指定選手選考について

2021年度の強化指定選手選考基準と選考基準に基づき選出した強化指定選手（次世代を含む）について、パラアルペンは夏目委員長、IDアルペンは東海林副委員長、ノルディックはパラ・IDとも渡辺委員長、スノーボードは二星委員長より説明が行われた。

夏目：ASPHでは、WPASポイントとWC出場資格の2点をベースに基準を作成、追加招集の基準を明記しました。J-STAR4期で15歳の有望選手を発掘しました。次世代は1～2月に公募する予定。

東海林：JPSポイントをベースにした基準にしました。今年から次世代育成選手を4名選考しました。

渡辺：ノルディックはパラ・IDとも普遍的な基準としてA指定（メダルを狙える選手）B指定（入賞を狙える選手）C指定（A・Bを目指すことが出来る選手）を基準に定め、

パラチーム 12 名、ID チーム 13 名の選手を選考しました。

二星：選考基準に沿って選考したところ、A 指定選手と B 指定選手と次世代育成選手だけで C 指定の選手はいませんでした。新年度は次世代選手の発掘は行いません。強化指定選手と昨年発掘した次世代育成選手の強化を中心に考えています。

議長：強化 5 チームの強化指定選手選考基準と強化指定選手選考結果について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(3) アルペン委員会の委員の追加について

夏目：ID チームのヘッドコーチの千葉一之さんをアルペン委員に推薦します。パラチームのヘッドコーチの石井さんが委員になっており、チーム間の情報共有に有効と考えています。

議長：ID チームの千葉一之がアルペン委員に就任することについて承認を求めたところ全員一致で承認された。

【報告事項】

(1) 2020 年度の仮決算について

鈴木：会計システムの移行があり、実績は 20 年 8 月から 21 年 3 月の数字です。4 月から 7 月の数字は分かる範囲の実績と想定額を資料にしました。2020 年度の繰り越しは 2 億 4 千万円程になると見込まれます。

(2) 北京パラリンピック代表選手推薦基本方針と一次選考結果について

大日方：北京パラリンピックの選手推薦基本方針を強化本部で作成し、7 月 7 日の常任理事会で承認を得ました。内容は、JPC の編成方針・選考基準に準じています。基本方針では選考基準・選考要素・選考委員会設置・選考と推薦の手順・通知と公表・不服申し立て・感染症による国際大会中止及び延期の影響について・選考に必要な準備と日程・推薦枠数・バイパルタイトについて規定しています。各チームの選手推薦基準も明記しており一次選考は 7 月 17 日、二次選考は 12 月下旬、三次選考は 22 年 1 月下旬を予定しています。一次選考の結果は投影された資料の通りです。これから候補となる選手に各委員長より説明を行い、21 日に HP で公表する予定です。

(3) 強化本部の新体制について

大日方：保科さんを強化副本部長に推薦し 7 月 7 日の常任理事会で承認を得ました。

保科さんに就任してもらう背景には、保科さんが JPC 運営委員に就任したため、JPC から強化に関する情報を提供してもらうこと、国際大会の決定事項が多いため副本部長を 2 名体制にすること、競技大会本部・総務委員会と強化本部の連携を深めることにあります。

(4) オンラインでのスポンサー向け報告会について

隅野：今まで毎年実施していた感謝の夕べの代替として、オンラインで 8 月 2 日 15 時より 1 時間程、選手からの報告をメインにして 20-21 シーズンの活動報告や新年度の抱負等をスポンサー向けに発表する場を設けます。来週には役員の方々にも案内をいたします。

【その他】

* 大日方：IPC から WPSS を切り離し、新たな IF を設立する動きがあります。移行期間を設け 2026 年に新体制になる予定です。

* 石丸：事務局の夏季休業期間（8 月 12 日から 8 月 16 日）について案内した。

議長：以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

2021 年 7 月 17 日

議事録署名人

議 長 椎 名 茂

議事録署名人 古 市 隆 一

議事録署名人 隅 野 礼 雄